

＜ 外国語 ＞ 科 学 習 シ ラ バ ス

科 目	英語コミュニケーションⅢ	学年・類型	3 年生(Ⅱ型)	単位数	4 単位	教科書	All Aboard! English CommunicationⅢ (東京書籍)	
学習の到達目標		日常的・社会的な話題について、必要な情報を理解し、概要や要点を目的に応じて捉えるとともに、基本的な語句や文を用いて、情報や考え等を論理性に注意して伝えることができる能力を養う。						
評価の観点	A 知識・技能		B 思考・判断・表現		C 主体的に学習に取り組む態度			
評価の内容	英語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身につけているとともに、その使い方や使う場面などを正しく認識し、適切に使うことができる技能を身につけている。		効果的な場面で、学んだ情報を整理して、取捨選択しながら相手が理解しやすいように伝えている。		コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしている。			
評価の方法	・学習活動における発言や態度 ・単元別復習テスト ・ノート、学習プリント ・定期考査		・学習活動中における発言や態度 ・音読に対する意欲や態度 ・ノート、プリント ・定期考査		・学習活動への参加姿勢や態度 ・授業中の学習態度や学習意欲 ・ノート、プリント ・長期休業中課題			
学期	月	単元名・小単元名	学 習 の 指 導 内 容			評 価 の 観 点		
						A	B	C
1 学期	4	Lesson1 Gifts to Barcelona	・ガウディが設計した建築物の概念や特徴と、バルセロナにおける、その意味について学習する。 ・to 不定詞と動名詞を用いた文の形・意味・用法を理解する。 ・建築物について、英語で紹介する。			○		
	5	Lesson2 Akkamui	・北海道の野生動物観察ツアーガイドの説明を通して、エゾモモンガやアイヌの人々について学習する。 ・現在完了形を用いた文の形・意味・用法を理解する。 ・生き物の特徴について、英語で説明する。			○		
	6	Lesson3 Your True Colors	・衣服の働きと自己表現としてのファッションについて学習する。 ・使役動詞を用いた文の形・意味・用法を理解する。 ・ファッションについて、英語でインタビューをする。			○		
	7	Lesson4 Our Future Food?	・コオロギを使用する昆虫食についての対話を通して、食糧問題について学習する。 ・受動態を用いた文の形・意味・用法を理解する。 ・食糧問題について、英語でミニディベートをする。			○		
	8・9	Lesson5 Madagascar	・マダガスカル の自然と人々の生活を通して、地球環境や生態系について考える。 ・関係代名詞を用いた文の形・意味・用法を理解する。 ・地域の自然について、英語でプレゼンテーションをする。			○		
2 学期	10	Lesson6 The Mystery of the Terracotta Warriors	・古代中国を統一した秦の始皇帝の業績と彼が残した兵馬俑について学習する。 ・関係代名詞の非制限用法を用いた文の形・意味・用法を理解する。 ・訪れてみたい史跡について、英語でまとまりのある文章を書く。			○		
	11	Lesson7 Green Challenges	・地球温暖化と再生可能エネルギーについての発表を通して、エネルギー問題とその解決策について学習する。 ・比較表現を用いた文の形・意味・用法を理解する。 ・再生可能エネルギーについて、国や地域を比較して英語でプレゼンテーションをする。			○		
	12	Lesson8 Witnesses of War	・広島 の被爆電車についての物語を読み、復興のために力を尽くした女性について学習する。 ・名詞を後ろから説明する分詞を用いた文の形・意味・用法を理解する。 ・経験したことや考えたことについて、英語でまとまりのある文章を書く。			○		
	12	Lesson9 The Wonders of Lightning	・海外の高校生に向けたオンラインでの発表を通して、雷の発生のしくみや避難方法、地球温暖化との関係などについて学習する。 ・仮定法過去を用いた文の形・意味・用法を理解する。 ・電気の有効活用について、英語でミニディベートをする。			○		
3 学期	1	Lesson10 Katherine' s Long Journey	・人種差別の壁を越えて、米国の宇宙開発に貢献したアフリカ系アメリカ人数学者、キャサリン・ジョンソンと差別の問題について学習する。 ・関係代名詞whoseを用いた文の形・意味・用法を理解する。 ・社会に影響を与えた人物について、英語でエッセイを書く			○		
	2							
	3							
学習のポイント		・授業はもちろん家庭学習においても辞書を繰り返し使用させる。 ・間違ったところは正しく訂正し、なぜ間違ったのかを考えさせる。 ・しっかりと声を出して音読し、意味を意識しながら繰り返し練習する。						